

第41回日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会

受賞された演者の先生からのメッセージ

2023年10月7日（土曜日）ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター
今回の地方会では、とくに優れた演題を発表をされた一般演題の演者の6名の先生を表彰させていただきました。受賞された演者の先生からの喜びの声をご紹介します。

最優秀演題賞

康生会武田病院 臨床工学科
國知航大様

康生会武田病院臨床工学科、國知航大です。カテール歴は4年目になり、今回初めて演題発表をさせていただきました。最優秀演題賞を受賞できたこと、嬉しく思います。また、ご指導いただいた皆様方には、たいへん感謝しております。当院では学会発表の前に、部署内での発表の機会があり、本番さながらの質問やスライドに対する意見をいただけ、より良いものにするのができたのも受賞の一因であると考えます。今回の演題ですが、心・血管カテール業務の清潔介助における教育プログラムを作成し、実施したので報告させていただきます。プログラムを5つのステップに分けることで、目標と課題を明確にすることができました。また課題がはっきりしたことから、目録と課題を明確にするということができました。私は今、より深い知識の習得を課題としていますので、「心血管インターベンション技師」取得を目指して励んでいきたいと思っております。

優秀演題賞

高の原中央病院 臨床工学科
副主任 救急救命士
木曾原匠様

この度は優秀賞を頂き、誠にありがとうございます。当院救急救命士は臨床工学科に属し、ハートセンターチームの一員として臨床工学科と密に連携をとり活動しています。本演題は「ハートセンターチームへの救急救命士介入 Door-to-Balloon Time短縮を目指し救急救命士が関われる事」と題し救急救命士としてDRI短縮にどう貢献するかを考えて実行した事について発表しました。STEMI症例に対して判断に迷う場合中央検査室の採血結果を30分以上待たなければならぬことが問題と考え、臨床工学科士へ相談、トロポニンが10分で測定できるポータブル血液分析器が提案され導入されました。導入後は救急救命士が管理し救急の現場で活用しています。これによりカテールチームの招集が迅速となり治療開始が確実かつスムーズに導く事が可能となりました。今後も高の原の病院救命士として、自施設の強みである循環器疾患に対する知識を広げ、救急救命士として救急救命士の本来の職務を全うし、患者様の緊急治療に・予後に直接関わる仕事をしたいと思っております。



QR codes for social media: facebook (CVIT 近畿 Co-medical), Instagram (CVIT_kinki_come), X (CVIT近畿_Medical staff member), LINE.

次回 CVIT近畿地方会
2024年3月2日（土）
ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター

CVIT メディカルスタッフ部会 SNS発信中！ 繋がる！近畿の情報お届けします！

一般演題募集開始 !!学会発表しよう！

皆さんご準備はいいですか？第42回CVIT近畿地方会（日本心血管インターベンション治療学会近畿地方会）の一般演題募集が10月25日より開始！今回もたくさんの賞をご用意して皆様の演題登録をお待ちしております。皆さんが抱いた疑問・興味を持ったこと・経験したこと,,,ふっと貴方が考えたことは、きっと他の多くの方にも興味があるはず。是非貴方から情報発信を！

私から情報発信！みんなで情報共有！

第42回 日本心血管インターベンション治療学会 近畿地方会

日時 2024年3月2日
会場 ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター
会長 小林 智子 (京都府病院)